

令和7年度 学校経営の方針

1 本校の教育目標

人間尊重の精神を基に、広く国際社会に協調できる心豊かで心身ともにたくましい、主体性をもつ児童の育成を目指し、本校の教育目標を次のように掲げる。

- ◇自ら学び、よく考える子
- ◇豊かな心を持ち、思いやりのある子
- ◇最後までやりぬく、たくましい子

四谷小の合言葉

よい子

つよい子

やさしい子

2 目指す学校像と基本方針

(1) 子どもにとって「安心して自己実現ができる学校」

子供一人一人が安全で安心して学び、できる・分かる・もっとやりたいという学ぶ喜びを味わい、互いのよさや成長を認め合うことのできる学校づくりを目指す。

(2) 保護者や地域にとって「信頼して協力できる学校」

子供のよりよい成長を共に願い、迅速・親身・温かい対応を通して、学校と保護者・地域が連携して、教育（共育）を行うことのできる学校づくりを目指す。

(3) 教職員にとって「協働して教育実践できる学校」

教職員としての専門性を磨き、学び合い、支え合い、高め合いながら、組織的に課題解決に取り組むことができる学校づくりを目指す。

児童数及び学級数増加に伴う校舎増築に関して

○8月に10教室と音楽室、職員室、給食室を備えた新校舎が完成し、2・3年生が引っ越します。

- ・5月から8月まで校庭の芝生張替え工事を実施しますので、校庭が全面使えなくなります。
- ・コモレ四谷のスポーツスクエアーの施設や外堀公園のグラウンドなどを適宜お借りして、校庭が使えなくなる期間は、体力テストや体育の授業、クラブ活動ができるようにします。
- ・運動会は11月22日(土)に四谷小学校の校庭で入れ替え制なしで実施します。お弁当をお願いします。
- ・現存校舎では教室が不足するため、1学期は、ランチルームを6年の仮教室に変更するとともに、1年生を3教室でスタートし、クラス編成をし直して2学期から4学級でスタートします。
- ・四谷小学校放課後こどもひろばは、新宿区健康センター内施設とクリーニング会館を併用します。

※詳細はひろばへお尋ねください。

3 教育目標を達成するための基本方針

(1) 「自ら学び、よく考える子」の実現に向けて

自らすすんで学習に取り組み、自己の目標を達成する子を育てます。

- ① 問題解決的な学習を重視し、学習のめあてや問いを意識して、自分の考えをもち、友達と学び合い、自分の考えを深める学習展開を工夫し、「すすんで学習に取り組む態度」を養います。
- ② 教科担任制による学習指導を推進します。3年生以上で交換授業による指導（1学期は校庭使用期間の制限があり柔軟な実施になります）、全学年で音楽を専科教員及び講師による指導、2年生以上で図工を専科教員による指導、5・6年の外国語活動を英語専科による指導、5・6年生の家庭科を学習指導支援員による指導を行い、複数の教員で子供たちを見ていくメリットや授業準備の効率化による授業の質的向上を目指しています。
- ③ 生活科・社会科・「そうごう」を中心に、地域の人と関わる体験活動や探究活動を展開しています。
- ④ タブレット端末を効果的に活用して教育活動の充実を図ります。
- ⑤ 児童のICTスキルを高めたり、ドリルパークを活用したりして個に応じた指導を充実させます。

(2) 「豊かな心を持ち、思いやりのある子」の実現に向けて

互いを認め、約束を守り、人の役に立つことを喜びとする子を育てます。

- ⑥ 学校や学級のルールへの遵守と挨拶・規範意識の向上を全教員が同じ姿勢で指導します。
- ⑦ 生命尊重の教育、人権尊重教育、いじめの未然防止の取組を全学級で行います。
- ⑧ 学校行事や縦割り班活動、クラブ活動や委員会活動、四谷子ども園や四谷中学校との連携、金管バンドや天童市立千布小学校との交流、地域の方々の学習支援を通して様々な人と交流します。
- ⑨ 外部講師や保護者・地域の支援のもとで、花や野菜の栽培、環境教育・食育など環境美化や環境教育の充実を図ります。
- ⑩ 相互の違いや多様性を大事にするとともに、特別支援教育の充実に向けた取組を推進します。

(3) 「最後までやりぬく、たくましい子」の実現に向けて

目標に向かってやりぬく丈夫な心と体を育てます。命を守り大切にする教育を行います。

- ⑪ オリンピック・パラリンピック教育の成果を継続し、子どもの体力向上に取り組むとともに、トップアスリートと触れ合ったり日本の伝統文化や多文化理解を深めたりする体験を設定します。
- ⑫ 健康で丈夫な体をつくるために、自己の目標を設定して粘り強く取り組む指導をします。また、狭くなった校庭を効果的に活用した休み時間の設定や学校外の施設を活用した取組を進めます。
- ⑬ 様々な状況を想定した避難訓練、防災教育、交通安全教育を計画的に実施して、自他の命を守る方法を身に付ける指導をします。
- ⑭ 個人目標と学級・学年目標達成を目指して、協力して学校行事に取り組む子どもを育てます。
- ⑮ 児童数の増加を踏まえて、保護者参観の仕方を工夫した運動会や文化的行事の実施をします。

(4) 「特色ある教育活動」に継続して取り組みます。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ○小中連携（四谷中、花園小で授業参観） | ○保幼小連携（四谷子ども園との交流など） |
| ○環境（地域クリーン活動 花いっぱい運動等） | ○情報教育（タブレット活用やICT能力育成） |
| ○国際理解（マレーシアやフランスとの交流） | ○福祉体験（シッティングバレー体験等） |
| ○キャリア教育（6年職業学習） | ○姉妹校交流（天童干布小との交流行事） |
| ○課外活動（四谷小金管バンド） | ○社会科教育（国立教育政策研究所検証協力校） |

(5) ご家庭のご協力をお願いします。

しつけは家庭の大切な役割です。担任と連携・協働してよい習慣を育てましょう。

- ご家庭と連携し、家庭学習の習慣を身に付けましょう。
- 挨拶や場に応じた言葉遣いができる言語環境を整えましょう。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」「テレビやゲーム（タブレット）の時間を決め守る」ことを続けましょう。
- 8時5分～15分に学校の門を通れるように家を出発させ、20分までに教室に到着できるように。
- 忘れ物は学習に支障が出ます。お子さんが忘れ物をしていないかどうか確認をしましょう。
- スマートフォン等をお子さんに持たせるときは、危険なサイトにアクセスやゲーム等の課金をすることがないように、必ず「家族の約束」を「四谷小SNSルール」を参考に作りましょう。
- 学校に「携帯電話やスマートフォン」を持ち込むことは禁止です。やむを得ない事情で校内での所持を希望するご家庭は、申込書をご提出ください。
- 行事等で写した写真や動画、児童間のトラブルなどをSNS等に投稿することはご遠慮ください。
- 体育着の着替えは、下着の着用する場合は下着の着替えをもたせてください。3年生以上は更衣室、1・2年生は教室で着替えます。低学年教室にも着替え用仕切りカーテンの設置をしています。

4 今年度の重点

(1) 教室不足による増築校舎工事に対応した教育活動の工夫

- ・中休みを休み時間と短時間学習の2部制に、昼休みを休み時間と清掃活動の2部制にします。
- ・校庭が使えない期間は外部運動施設の活用、放課後こども広場や学びの教室の活動場所としてクリーニング会館1階を利用（横断歩道設置）をすることで教育活動の質を維持していきます。

(2) GIGAスクール構想の実現に向けて

新しいタブレットPCを積極的に活用し、子どもの「学びたい」「できる」を実現します。

(3) 基本的な生活習慣の定着と規範意識の向上

挨拶、遅刻、言葉遣い、廊下歩行、交通法規、遊びのルールなどについて、家庭と連携して、下学年は基本的な生活習慣の定着に重点を置き、上学年は学校外での規範意識の醸成に重点を置き、教職員で情報を共有して、家庭と協働して指導に取り組んでいきます。

(4) 児童が主体的に学習に取り組む態度の育成（じぶん発—みんな経由—じぶん行きの授業）

- 四谷スタイルの授業を推進して児童が主体的に学んでいこうとする態度を育てていきます。
- ・児童の意欲を高め、児童が「問い」や「めあて」を明確に意識できる授業をします。
- ・ICTや思考ツール、板書を効果的に活用して友達と協働的に考えを深め合う授業をします。
- ・学習を振り返って自分が学んだことを価値づけて、次の学習へつなげる授業をします。

5 その他研究推進校の指定等

- (1) 令和4年度東京都体力向上推進優秀校
- (2) 令和3～7年度 国立教育政策研究所教育課程実践検証協力校（小学校社会）
- (3) 新宿区教育委員会研究発表校「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実～じぶん発—みんな経由—じぶん行きの授業を通して—」
- (4) 新宿区教育課題研究モデル校「この子（個）がキラキラ輝く学びの実現」
- (5) 東京都小学校社会科研究会研究会開催校「社会とつながり未来を創る子供の育成」